

小中一貫教育推進室だより

色麻町教育委員会 教育総務課 小中一貫教育推進室 65-2111 (有線 2040)



本年もよろしくお願いたします！

あけまして、おめでとうございます！

2009年から2010年にバトンが手渡され、早いもので2週間が過ぎました。今年は寅年、寅年には戦争と噴火が多いというデータもあるようですが、「寅」の字は元々動くという意味があり、春が来て草木が芽を出す状態をさしているそうです。できるだけ明るいニュースの多い1年であることを期待したいと思います。

教育委員会では、本年も幼稚園・小・中学校と力を合わせ、子どもたちの健全育成と学力向上はもちろんのこと、ふるさとに誇りを持ち、夢や希望を持って生き抜く、たくましい子どもたちの育成をめざして頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

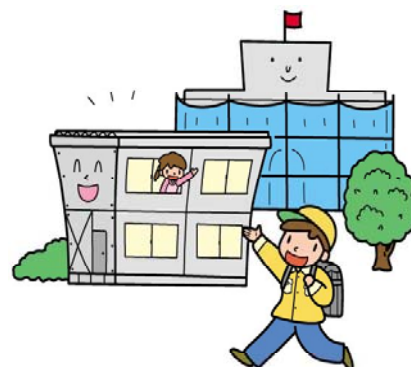
町内でも2学期後半に新型インフルエンザが流行し、休園や学級・学年閉鎖の措置を取るに至りました。3学期が始まって約1週間が過ぎましたが、子どもたちは学校の生活リズムを取り戻せたでしょうか。締めくくりの学期を元気に過ごし、新学期を迎えて欲しいものです。

特に、中学3年生にとっては、これからが大切な時期です。十分な栄養と睡眠、そしてこれまでの復習を計画的に行い、受験を無事乗り切りたいと思います。そして、全員笑顔で卒業式や春を迎えられるように祈っております。



さて、教育委員会ではこれまで、小中一貫教育の実現に向けた取組状況について、有線放送や推進室だより等を通じて、住民の皆様への広報に努めて参りましたが、今年は校舎等施設のハード面、そして、小中一貫教育のねらいを効果的に達成させていくための組織や具体的な取組など、いわゆるソフト面について吟味し、バランスよく計画を推進していく予定です。

現在、校舎等施設案について検討中ですが、中学校の校舎を核とした、施設一体型の小中一貫校とすることで検討を進めています。



その観点としては、大切な要素がいくつかあります。

- * 校舎の日当たりがよいこと。
 - * 子どもたちが、あまり時間をかけずに校舎内を移動できるようにすること。
 - * 2つ以上の学年が交流したり、一緒に給食が取れるようなランチルームをつくること。
 - * 児童生徒だけではなく、町民にも開放できるような図書室と多目的ホールをつくること。
- などです。

各施設のスペースや予算面など、いろいろ難しい問題も山積していますが、今年度中に方向性を決め、来年度早々には実質的な設計に入りたいと考えています。